

2026年5月17日(日)に、戸塚スポーツセンターでチャレンジフェスティバルを開催します。種目は、体力系の握力、片足縄跳び、小丸太切り、ドリブルなどや、頭脳系の記憶力や数字書き、ほかにも昔懐かしい羽根つき、けん玉、輪投げなど、全部で20種類。大人も楽しめます。記録は小学生低学年・高学年に分かれていますので、新記録目指してチャレンジ!!



【フロアカーリング】何点とれるかな?



【記憶力】全て記憶できるか?



【グランドダーツ】最高点とれるか?



【小丸太切り】何秒で切り落とせる?



各種目の最高記録者に賞状と記念品を授与

- 過去の記録例
・片足立ち(目をつぶって片足で何分立てる?)
→10分58秒(低学年クラス)
・けん玉(連続で何回のせられる?)
→90回(低学年クラス)
・記憶力(1分間で何文字覚えられる?)
→12文字(低学年クラス)



開催時間などの詳細は随時戸塚区ウェブサイトにて公開します!



開催概要

第31回チャレンジフェスティバル

主催：戸塚区青少年指導員協議会 共催：戸塚区子ども会連絡協議会
後援：戸塚区役所
日時：2026年5月17日(日) 9時00分～13時00分(予定)
会場：戸塚スポーツセンター(戸塚区上倉田町477)
●ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。
●上履きを必ずご持参ください。

Table with 2 columns: 2025年度下期行事 and 2026年度上期行事予定. It lists various events such as disaster response training, art festivals, and youth council activities with their respective dates and locations.



さくらっこ!



目次

P.1...スマホとの賢いおつきあい四段活用 ~成長に合わせたスマホ道~ / P.2・3...親子でお出かけスポット
P.4...第31回チャレンジフェスティバル/ 2025年度下期行事・2026年度上期行事予定

子育てワンポイント! No.31

スマホとの賢いおつきあい四段活用 ~成長に合わせたスマホ道~

【幼児期(0~5歳)】

<一緒に見る>

この時期の子どもにスマホを渡すと、まず起こるのは「タップ界の天才」誕生です。親がロックをかけたつもりでも、なぜかYouTubeが再生されている。まるで魔法。けれど、幼児の脳はまだ現実と映像の区別があいまいです。長時間の動画視聴は注意力や想像力の発達にブレーキをかけることもあります。上手な使い方は「一緒に見る」こと。親子で動物動画を見ながら「ゾウさんのお鼻長いね～」と会話をすれば、言葉も心も育ちます。



【児童前期(6~9歳)】

<一緒に調べて一緒に考える>

この頃の子どもは「なんで?」「どうして?」の嵐です。検索エンジンを使えば世界の謎が指先で解ける...かと思いきや、「ゾウの鼻」を調べたつもりが、「象印の炊飯器」レビューを読むことになったり、文字変換の違いで全く別の世界に迷い込むことになったりします。ここでは「一緒に調べて一緒に考える」姿勢が大切です。学習動画や知育アプリをうまく活用してスマホを「好奇心エンジン」に仕立てましょう。

逆に害を及ぼすのは、長時間の視聴やゲーム依存。「スマホの中の楽しい世界」は現実世界の遊びや友達との関わりから得る重要な学びを奪うことに繋がります。スマホはあくまで「探検の地図」、現実世界の探索時間をなるべく多く与えたいですね。

【児童後期(10~12歳)】

<一緒にスマホ憲法の制定>

この時期は、SNSやオンラインゲームに興味津々。友達とのつながりが何より大事な年頃だけに、それらに熱中しがち

です。グループチャットで「おはよう!」と送って既読がつかないだけで世界の終わりを感じる...なんてことがあるのです。ここでは、「時間とマナーのルール作り」から始めましょう。「21時以降はオフライン」「悪口は書き込まない」など、親子で一緒に考えて「スマホ憲法」を制定しましょう。



害を及ぼす使い方は、他人を傷つける発言や過度な比較。SNSの「いいね」に心を支配されると、自尊心がジェットコースターのように上下します。スマホは「仲間との絆」のひとつですが、なくてはならない「命綱」にならないよう注意が必要です。

【思春期(13~18歳)】

<一緒に休ませよう>

ついにスマホは「体の一部」に進化します。朝の目覚ましも、友達との連絡も、勉強も恋の相談も、何でもスマホ経由。便利すぎて手放せないからこそ、SNS疲れや情報の洪水に溺れる危険があります。上手な使い方は、調べる・学ぶ・つながるなど「目的をもって使う」こと。特に「つながり」には「時間の線引き」が重要です。スクロールの止まらない夜には、「スマホにも睡眠時間が必要」と思って一緒に休みましょう。

害を及ぼす使い方は、匿名の世界での暴言や無防備な投稿。インターネットは消しゴムが効かないノートです。一度書いたら、世界中に配られる可能性があるということを忘れずに。

スマホは「敵」ではなく、「知恵と節度」を持って使えば最高の味方。けれど、気を抜くといつの間にか主役の座を奪ってしまう名脇役でもあります。大人も子どもも、「スマホに使われる」のではなく、「スマホを使いこなす」。これが現代の「成長の証」かもしれません。



元旦マラソン 柏尾地区



元旦マラソンは開催から来年で50周年を迎える伝統行事です。不動坂から柏尾小学校までのマラソンです。コースは3コースあり、平坦な道のりの1kmコース、坂道もありの3kmコース、坂道、階段、山の尾根道ありの5kmコースです。今年度は230人の参加がありました。



親子 お出かけ スポット 第3弾!

今回は、各地区で行われている行事やイベントをピックアップしました。地元で行われる行事に参加してみたいかですか？

防災減災フェスティバル 平戸平和台地区

毎年11月に境木中学校で行われている地区の防災拠点開設訓練を、防災・減災関連の展示や体験ができるイベントとして、令和5年からパワーアップしました。今年度は起震車や段ボールベッド、AED講習など、スタンプラリーをしながら様々なコーナーを体験できるようにしました。地区内だけでなく隣接する地区からも、スタッフを含めて約600名が参加しました。



起震車体験



AED講習



炊き出し訓練(すいとん)

AQUAフェスタ 上矢部地区

上矢部地区を縦断する阿久和川と、合流する名瀬川の周辺で、毎年9月に開催されるのがAQUAフェスタです。上矢部水辺愛護会が主催し、地元の小学生による流域でのゴミ拾い、歌やダンスの発表でスタート。両岸の遊歩道で行われる地元企業や団体による出店やゲームをまわる、スタンプラリーも行われます。地域を流れる川に親しむ機会として、子どもも大人も毎年楽しみにしているイベントです。昨年度は台風による増水で中止になったため、今年度は2年ぶりの開催。多くの子どもと大人が参加して盛り上がりました。

- 実施時期：9月
- 開催場所：阿久和川と名瀬川の周辺



地元小学生による発表会



阿久和川に細い橋を架けて渡る

流しそうめん 踊場地区

9月第1日曜日に「流しそうめん大会」を行い、多くの方が来場しています。会館の中でダーツや輪投げなどで遊べるほか、最後にスイカ割りも行っています。参加費：1人350円 例年60人程度参加

- 実施時期：9月第1日曜日
- 開催場所：踊場町内会館



スイカ割り



流しそうめん

凧あげ 東戸塚地区



東戸塚地区凧揚げ大会

寒風の中、自作の凧を上げ、ユニークな凧を表彰します。当日会場で販売するビニール凧に、自作で絵を描き参加することもできます。会場には多くの屋台も出店しており、家族みんなで甘酒やフランクフルトを食べながら凧上げを楽しんでいます。なお参加者全員には参加賞が配られます。

- 実施時期：2月
- 開催場所：上品濃公園
- 主催：東戸塚地区連合町内会



凧あげ 大正地区

毎年1月及び5月に実施される、凧揚げ大会を紹介します。1月の大会は東俣野小学校の児童が、近くの境川に隣接する田んぼで、事前に「東俣野凧の会」の指導で作った凧をあげます。これは小学校開校以来の伝統行事です。5月の大会は「東俣野凧の会」主催で、端午の節句に合わせ、同じ場所で実施されています。親子で自然に触れる良い機会として、人気があります。

- 実施時期：1月と5月
- 開催場所：東俣野境川傍



海釣り大会 踊場地区

番外編

6月第1日曜日に、地区の子どもや大人を連れて横須賀まで釣りに行きます。学童保育所の年間行事にも組み込まれています。釣り竿は、ある程度青指で用意するので、初心者でも気軽に参加できます。当日は、地下鉄と京急を乗り継ぎ、堀の内下車。サバ、メジナ、メバルなどが釣れます。参加費：大人1,500円、子ども750円 例年90人程度参加

- 実施時期：6月第1日曜日
- 開催場所：横須賀市海浜つり公園



小さなサバ



大きなメジナ

